



あらかわらばん

2018.2
(Vo.8)



まち協HP <http://www.love-arakawa.bz-service.net/> Mail: love-arakawa@bz04.plala.or.jp



12月25日(月)～1月5日(金)の冬休み期間中に、つどい場「あら、ほっ」にて小学生を対象とした体験活動と自由な遊び場を実施しました。参加した子供たちは、カフェで冬休みの宿題をしたり遊戯室でおもいっきり遊んだりと思いに過ごしました。日替わりで体験も行い、プラ版工作やピザ作りなどを楽しみました。まちづくり協議会事業部会では、つどい場「あら、ほっ」を自由に楽しく遊べる場所にしたいと考えています。また、春休み期間中にも実施を予定しています。

雑煮合戦！どっちがうまい？

冒険遊び場で雪遊び



1月28日(日)に、つどい場「あら、ほっ」を会場に冒険遊び場冬物語を実施しました。



開催一週間前には、全く雪が無く実施が心配されましたが、直前に大寒波が襲来し、当日は無事に雪遊びができました。絶好のコンディションの中で親子約50人が思い思いに活動を楽しみました。



お昼は室内で餅つきをして、2種類の雑煮を食べ比べ、人気投票をして楽しみました。

ツリーハウスプロジェクトメンバー募集



あらかわドリームプロジェクト
つどい場「あら、ほっ」にツリーハウスを作ろうプロジェクトメンバー 大募集

まちづくり協議会事業部会では、つどい場「あら、ほっ」を、より魅力ある場所にしたいと手作りで「ピザ釜」「バーベキュー釜」「ドラム缶風呂」などを作ってきました。

次は、壮大なプロジェクトとして「ツリーハウス」を作りたいと考えています。これまでも様々な方が関わってくれましたが、夢の実現のためには、より多くの皆さんの参画が必要です。「一緒にやってみたい」「協力ならできる」など一緒にプロジェクトに参加してくれるメンバーを募集します。

【申込み方法】

住所、氏名、電話番号を添えて、あらかわ地区まちづくり協議会【☎0254-62-3102】へ3月2日までにお申し込みください。

目標人数 20人

賛同者が目標人数に達しなかった場合はプロジェクトを再検討します。その場合、申込みいただいた方にはご連絡します。



荒中生、国際理解教育プレゼンテーションコンテストで快挙!

県内の中高生が「国際理解」について普段考えていることをテーマに発表を行うコンテストが12月16日(土)に新潟市の朱鷺メッセで開かれ、荒川中学校2年生の2チームが中学生部門の最優秀賞と優秀賞に見事輝きました。初参加で同一校によるW受賞は珍しいとのこと。

最優秀賞の女子チームは「ファッション」を、優秀賞の男子チームは「100円均一ショップ」をテーマに掲げ、商品の安さの裏側にある発展途上国の労働環境や、我が国の大量生産・消費などについて問題提起を行いました。



女子チームの大嶋夕稀さんは「新たな視点で身近な問題に目を向けることで、解決策を考え提案することができたので良かったです。」、男子チームの佐藤圭さんは「休日に仲間と集まり、学習や練習を重ねた成果が、結果として表れとても嬉しいです。」と話していました。

ママ&ばあばカフェ

～節分あそびをしよう～

対象
乳児～就学前児童
および保護者

日時
平成30年2月23日(金)
10時～14時

会場
つどい場「あら、ほっ」
(旧荒島保育園)

参加費
おやつ代100円(豆まき用)

2月のイベントは、節分遊びをします。かわいい鬼を退治して、豆まき遊びをします。豆代わりのおやつもあるよ! 野イチゴの会の読み聞かせ、越後関川地産研究会のお惣菜販売などイベント盛りだくさん。ご参加お待ちしております。

【お問い合わせ】
荒川支所 地域振興課自治振興室 ☎ 0254-62-3102
または 村上ohanaネット事務局 ☎ 0254-52-6612

みんなで歌って健康に♪

うたごえ広場

旧議場で大きな声で歌いませんか?

毎月第4土曜
午後1時半～開催中♪

2月は
24日開催です!

事務局あとながき 担当：O

はい、本厄第一弾! 1月下旬から、十年ほどお付き合いのなかったインフルエンザ(A型)にかかり、療養を余儀なくされました。内科の先生から「A型ですね! お大事にしてください」といわれるや、内科の会計や薬局の人まで、みんな警戒してるなあ〜って、ピンピン感じました... (そりゃそうですよね、インフルだもん)

そんななか、我が家の猫だけは、飼い主の気持ちを察してか、私の布団のなかに一緒に入って看病をしてくれました。猫の優しさ、健康のありがたさを身に染みて痛感した一週間でした。

地場産の野菜についての総合学習

1月18日(木)に、保内小学校3年生が地場産の野菜の良さについてや、その野菜をどのように活用して地域活性化を行っているかについて、講師の荒川地区食生活改善推進員の一ノ瀬さんと、荒川支所産業建設課の職員が説明を行いました。

一ノ瀬さんは、地場産の野菜や荒川の鮎などをふんだんに使用した「あらかわご馳走」を考案したこと、産業建設課の職員からは、地場産の野菜の種類や、地物野菜を取り扱っている「あらかわ直売所」の説明を行いました。

児童は、「どうして今年は野菜が高いのか」「スーパーと直売所の違い」などについて鋭い質問をしていました。

編集後記 支援・情報部会 横山

PCの調子が思わしくなくビクビクしながら作業してましたが、何とか終わってホッとしております。そろそろ新調したいとは思っているのですが、私の懐事情からすれば壊れるまで保留となるでしょう。壊れてもすぐさま新調するのを躊躇うくらいには時期が悪い感じもネックです。

それはさておき、冬場に給湯器が壊れると、かくも切ないものかと先月ほど前に思い知らされました。ライフラインと給湯器のありがたさを身に染みて痛感しました。